

事業実績報告書

講座番号	B-33	講座名	古墳と人々の生活－しだみ古墳群と全国の古墳を比較して－
記載日	2024/11/11	団体名・企業名	歴史の里マイスターの会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>地域に残された文化財(古墳)から私たちの先祖は、何を感じ、どのように扱ってきたのかを学習しました。そして、これから古墳をどの様に保存していくのが良いのかを考えました。文化財の保存と地域の開発は相容れないものではなく、緑の森たる古墳が町の中に溶け込んで、市民に安らぎを与え、憩いの場になるのではないかと提言しました。また、座学にともなって、東谷山山麓の古墳を巡り、現在の古墳の保存状況や活用状況を見学しました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
座学「古墳と人々の生活－しだみ古墳群の例などから－」の受講風景		「東谷山山麓としだみ古墳群ガイドツアー」において横穴式石室を見学している風景	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>古墳を対象にして、文化財の保護や自然を考えるをテーマに講座を開催させていただきました。現在の古墳は緑の木々につつまれています。参加者の人に古墳の話をお聞きいただき、現実の古墳を見てもらうことで文化財をどのように保護したらいいか、生活の中の緑の丘(古墳)が心の安らぎになるのではないかと提案させていただきました。社会の発展と文化財保護は対立するものではなく、町の中に残る文化財が市民の環境を守る一助になることを願います。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>「古墳という文化財の残り方(保護、破壊、他の利用)を通じて歴史を見る目が養われた。」 「地名の由来、興味深い伝説が聞けて面白かった。」 「古墳巡りを初めてでしたので、大変興味深く面白かった。」 「いつもは見られない古墳が見れて良かった。」 など、参加者の皆さんには楽しんでもらえたと思います。特にガイドツアーが好評で、今後も実物を見ながらの講座が喜ばれるのではと思います。</p>			